

経験者が語る

私の不登校とその後

不登校新聞社の仕事に携わる当事者の経験談やその後の生活について聞いてみませんか。
後半は登壇者、西東京市の親の会と交流会を予定しています。

令和6年

1月28日(日) 13~16時

ひばりが丘公民館

※質疑応答、交流会あり

定員

会場 40人

zoom10人

お話：NPO法人全国不登校新聞社

不登校ラボメンバー / 編集長 もてぎ りょうが 茂手木 涼岳

『不登校新聞』は、「当事者の声に寄り添う」をモットーに、日本で唯一の不登校・ひきこもり専門誌として、1998年創刊。不登校に関わる問題や子どもの権利について、またひきこもりや社会のあり方について考え伝えている。全国不登校新聞社「不登校ラボ」で編集に携わる経験者が、編集長の茂手木氏と共に登壇する。

対象：市内在住・在勤・在学者

申込：1月5日(金)10時から
電話かメールで
ひばりが丘公民館へ

☎ 042-424-3011 メール用QRコード
(平日9~17時)

✉ hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp



<メール申込の場合>

件名：「私の不登校とその後」申込

本文：①参加者氏名(ふりがな)

②住所(町名のみ)

③日中連絡の取れる電話番号

④お子さんの学年・性別

⑤(zoom受講の場合は交流会の参加可否を明記)

※後日返信メールを送ります。
返信がない場合は電話でお問い合わせください。

◆◆◆ プロフィール ◆◆◆

NPO法人全国不登校新聞社 不登校ラボメンバー

記事の執筆のほか執筆企画やインタビュー企画の立案、インタビューの実施・同行、主催イベントの開催・運営、外部での講演活動も行う。

も て ぎ りょうが

茂手木 涼岳 (NPO法人全国不登校新聞社編集長)

1981年生まれ。2010年より全国不登校新聞社勤務。

主な担当業務は編集と、不登校ひきこもり経験者のグループ「不登校ラボ」の運営。好きなものはゲームと漫画。7歳と2歳の娘の父。

※全国不登校新聞社の3つの事業

不登校新聞：「当事者の声に寄り添う」をモットーに、日本で唯一の不登校・ひきこもり専門紙として、1998年創刊される。不登校に関わる問題や子どもの権利について、またひきこもりや社会のあり方について考え伝えている。

不登校ラボ：不登校当事者/経験者が交流・取材、活動執筆活動を通してつながる場として月2回の交流会、月1回の研究会を行っている。

親コミュ：不登校の親専用のオンラインコミュニティ。学年別、地域別など30を越える小グループで交流可。また月1回のZOOMイベント（アーカイブあり）をいつでも視聴可能。

◎申込：1月5日(金)10時から 電話かメールでひばりが丘公民館へ

<メール申込の場合>

件名：「私の不登校とその後」申込

本文：①参加者氏名(ふりがな)

②住所(町名のみ)

③日中連絡の取れる電話番号

④お子さんの学年・性別

⑤(zoom受講の場合は交流会の参加可否を明記)



メール用QRコード

※後日返信メールを送ります。返信がない場合は電話でお問い合わせください。

◎アクセス



ひばりが丘公民館

西東京市ひばりが丘2-3-4

(都営ひばりが丘二丁目アパート4号棟1階)

電話：042-424-3011

メール：hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp

◆西武池袋線「ひばりヶ丘駅」南口より徒歩10分

◆西武新宿線「田無駅」北口より

西武バス【境03】

谷戸経由「ひばりヶ丘駅行き」

バス停「谷戸イチョウ公園」下車徒歩3分